

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年1月21日

協議会名:南幌町地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
夕張鉄道株式会社	<p>南幌循環線A① 南幌ビューロー～町立病院～役場～保健福祉総合センター～なんぼろ温泉～町立病院～役場～保健福祉総合センター～南幌ビューロー</p> <p>南幌循環線A② 南幌ビューロー～なんぼろ温泉～町立病院～役場～南幌ビューロー</p> <p>南幌循環線B① 南幌ビューロー～保健福祉総合センター～役場～町立病院～なんぼろ温泉～町立病院～役場～保健福祉総合センター～南幌ビューロー</p> <p>南幌循環線B② 南幌ビューロー～なんぼろ温泉～町立病院～役場～南幌ビューロー</p>	<p>60歳以上の町内居住者1,309名に交通に係るアンケート調査を行った。</p> <p>新たな利用者の発掘と利用の定着を図るため、従前の取組みに加えて、町内催事に合わせた臨時特別便の運行を行った。</p>	A 計画どおり事業は適切に実施された。	<p>C 【目標達成状況】</p> <p>①目標値(1日平均利用者数)20人に対し、実績は1日平均17.5人(運行日数100日、総利用者数1,745人)で目標を下回った。</p> <p>・現状分析としては、週に1～2回利用する常連利用者が半数以上であり、全体の利用人数に係る一人当たりの利用回数が多いため、常連客が利用しなくなった場合に、全体利用人数に大きく影響してしまう傾向が強い。加えて当該年度は、新型コロナウイルス感染症に係る外出自粛期間等が長期間継続したことにより利用人数が伸び悩んだものと推察する。</p> <p>②目標値(満足度)90.0%と設定していたが、年度中に予定していた聞き取り調査が新型コロナウイルス感染症の影響により実施することができず、満足度としては把握できなかった。(参考代替項目※60代以上の町内居住者1,309名にアンケート調査を実施:巡回バスの認知度82.5%、将来利用を考えている方38.7%)</p> <p>【効果達成状況】 交通空白地域に居住する方の足の確保、また、高齢者の外出機会の増加及び交流の促進が図られた。</p>	<p>町内巡回バスは、利用者の聞き取り調査に係る意見・要望等を踏まえ平成30年10月から一部運行経路を変更したところであり、利用者数は年度によって若干の増減はあるものの、ある程度安定して維持されている。</p> <p>交通空白地域の足の確保として、日常生活に必要な交通機関となっており、継続して運行している。</p> <p>全体利用数、利用頻度の高い常連客に依存している傾向を踏まえて、新たな利用者の発掘と利用の定着を図るため、従前の取組みに加えて、町内催事に合わせた臨時特別便の運行を行う。</p> <p>【実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査 ・広報誌等を活用したPR ・町内催事に合わせた臨時特別便の運行(年2回)